

山口情報芸術センター [YCAM]

やまぐちアートコミュニケータープログラム2024：架空の学校「アルスコーレ」 ARTIST in ARCADE Vol.01：梅田哲也

2024年7月20日（土）～9月1日（日）

山口市中心商店街（山口市道場門前1-3-10 遠藤中央薬局本店横）

アーティストと共に作品を深める 山口から生まれる新作作品を発表する展覧会！

山口情報芸術センター [YCAM] では、国内外で活躍するアーティストの新作作品を制作し、山口中心商店街のなかで発表するプログラム「ARTIST in ARCADE（アーティスト・イン・アーケード）」を開催します。

本展は、アートや学びに関する人材育成プロジェクト「やまぐちアートコミュニケータープログラム 2024：架空の学校『アルスコーレ』」の一環としておこなう、参加メンバーが主体のプログラムです。メンバーはアーティストの活動と伴走しながら、制作のためのリサーチから展覧会の運営までをおこないます。

多分野で活躍するアーティストをコラボレーターとして招き、会期中の成果公開を目指していくこのプログラムでは、参加メンバーがアーティストならではの独自の視点に触れることで、街や人、ものや出来事の新たな関係性を発見していくためのヒントを探ります。

商店街を舞台に展開する本展を通じて、新しい街の魅力や活用の可能性、そして山口から生まれるアートの新しいあり方を提案します。ぜひこの機会にご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中園町7-7

TEL：083-901-2222 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



はじめて商店が美術館になってみた「近江屋」
(2022年／撮影：谷康弘)

日常の余暇（スコーレ）を楽しむための技（アルス）を育む学びの場



「架空の学校『アルスコーレ』2023年度活動の様子
(2023年/撮影:山中慎太郎 (Qsyumi!))

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア / ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発 / 実施してきました。また並行して、メディア・テクノロジーが持つ可能性を応用して、地域課題の解決や地域資源の活用につながる取り組みも模索しており、こうした取り組みを主体的に推進することができる人材の育成にも取り組んでいます。

YCAMでは山口市中心市街地を拠点にアートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム」を2021年度より開始。4年目となる2024は、プログラム・ディレクターの三宅航太郎と山城大督により、プログラム全体とそれが展開される「まち」を架空の学校に見立て、学びと交流の時間と空間を創出しています。公募で集まった中学生からシニアまでの幅広い世代のメンバーとともに、アーティストとの作品制作や地域の中に新しい交流拠点をつくるプログラムなどを多数実施しています。

今回開催する「ARTIST in ARCADE Vol.01 : 梅田哲也」は、こうした取り組みから生み出された展覧会です。

プログラム・ディレクター

三宅航太郎 (みやけ・こうたろう)

1982年生まれ。鳥取県在住。アーティストとして活動したのち、2012年合同会社うかぶLLCを設立。カフェを併設した二つの宿を10年間運営。またグラフィックデザインをベースに、コミュニティのデザインやブランディングなど、県内外の文化的なプログラムに関わる。2022年、個人事務所「MAA」として独立。

プログラム・ディレクター

山城大督 (やましる・だいすけ)

京都市在住。映像の概念を空間やプロジェクトへ応用し、その場でしか体験できない《時間》を作品として展開する。東京都現代美術館、森美術館、あいちトリエンナーレ2013など全国各地で作品を発表。第23回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。京都芸術大学専任講師。

企画・制作

Twelve Inc.

美術家、映像作家の山城大督が代表を務め、アートマネージャーやビデオグラファーからなるアーツプロダクション。京都府を拠点に、全国各地で映像制作やジャンルレスなアートプロジェクトの企画制作・アートプロデュースをおこなう。

公衆電話から聞こえてくる、記録（メディア）にまつわる記憶



新作品《タイムホン》制作・リサーチの様子（2024年）

「ARTIST in ARCADE」は、「架空の学校『アルスコーレ』」の参加メンバーが、一定の期間に渡り、アーティストとともに街なかでのリサーチや制作を行い、その成果を発表するためのプログラムです。開催第一弾として、アーティストの梅田哲也を招き、新作を発表する展覧会を開催します。

梅田哲也はこれまで、現地にあるモノや日常的な素材を組み合わせたインスタレーションやパフォーマンスを多数発表してきました。2024年3月には中堅アーティストを対象にした現代美術の賞「Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)」のほか、令和5年度（第74回）芸術選奨文部科学新人賞を受賞するなど高く評価され、国内外での益々の活躍に期待が集まっています。

今回発表する梅田哲也＋YCAMによる新作《タイムホン》は、国籍も世代もさまざまな人たちが持ち寄った、CD、LP、書籍などの記録メディアと、それらにまつわる所有者の記憶から構成される作品です。また、メディアとメディアによって呼び起こされる記憶をキーワードとした本展は、来場者自身も持参した記録メディアとそこにまつわる記憶を残していくことができる展覧会構成となっています。

またオープニングイベントとして、山口市中心市街地にあるYCAMの分館サテライトAにて開催する展示Yamaguchi Seasonal 2024大友良英＋青山泰知＋伊藤隆之《without records》のアーティストを交えたトークイベントを開催します。

梅田哲也（うめだ・てつや）



photo: Tanaka Chihiro

現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象としての動力を活用したインスタレーションを制作する一方で、パフォーマンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアー作品や、劇場の機能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを発表。近年の個展に「wait this is my favorite part 待ってここ好きなどこなんだ」（ワタリウム美術館、2023-2024）、「梅田哲也 イン 別府『O滞』」（2020-2021年）など

開催概要

やまぐちアートコミュニケータープログラム2024: 架空の学校「アルスコール」
ARTIST in ARCADE (アーティスト・イン・アーケード)

Vol.1 : 梅田哲也

2024年7月20日(土)～9月1日(日)
山口中心商店街(山口県山口市道場門前1-3-10 遠藤中央薬局本店横)
月・木・金 13:00～18:00 / 土・日・祝 10:00～18:00
定休日: 火曜日・水曜日
入場無料

関連イベント

オープニングトーク

7月20日(土) 14:00～16:00
中市コミュニティーホールNac 2階(山口市中市町3-13)
参加無料 ※定員50名、事前予約優先
登壇: 梅田哲也、大友良英、青山泰知、伊藤隆之

主催: 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援: 山口市教育委員会
技術協力: YCAM InterLab
企画制作: やまぐちアートコミュニケータープログラム2024実行委員会(山口情報芸術センター[YCAM]、Twelve Inc.)
第3期 山口市中心市街地活性化基本計画 アートでつなぐまちの活性化事業

関連イベント

Yamaguchi Seasonal 2024

大友良英+青山泰知+伊藤隆之

without records

10:00～18:00
7月20日(土)～12月15日(日)
山口情報芸術センター[YCAM]サテライトA

Yamaguchi Seasonal 2024

坂本龍一+YCAM

Forest Symphony

10:00～16:30
8月10日(土)～12月15日(日)

■ 申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。

ウェブサイト:

www.ycam.jp

コロガルあそびのひゃっかてん2024

夏会期: 2024年7月13日(土)～9月15日(日)
冬会期: 2024年11月30日(土)～2025年2月2日(日)
10:00～17:00

休場日: 毎週火・水曜日、年末年始(12月28日～1月3日)
山口井筒屋(山口市中市町3-3)2階

入場無料

対象年齢: 小学2年生以下(未就学児の入場は保護者の同伴が必要です)